

近江の地場産業および
近江の地場産品の振興に関する施策推進協議会



情報発信拠点「ここ滋賀」の 運営状況について



令和3年9月1日(水)
滋賀県ここ滋賀 日本橋オフィス

1-1. 「ここ滋賀」について(概要)



【開業】
平成29年(2017年)10月29日

【面積】
1階 145.01 m² (43.86 坪)
2階 139.43 m² (42.18 坪)
計 284.44 m² (86.04 坪)

(付属部分)
屋上テラス 67.91 m² (20.54 坪)

【住所】
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1

【アクセス】
東京メトロ・都営地下鉄「日本橋駅」B6・B8出口からすぐ
JR「東京駅」八重洲北口から徒歩6分

1-2. 「ここ滋賀」について(目的・機能)



【目的】

- ◆ 滋賀の豊かな自然や歴史文化、その豊かな環境で育まれた食やモノなどの魅力を首都圏で発信し、滋賀への誘引の役割を担う拠点。
- ◆ 滋賀の魅力が再認識され、「買う・食べる・訪れる・住む」といった様々な場面で滋賀が選ばれるよう、多くの方に滋賀を体感していただく場。

【機能】

魅力体感 ・企画催事 ・食の体感 ・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域のヒト、コト、モノや四季など様々な角度から滋賀を切り出して演出し、販売（マーケット）や食の体感と一体で魅力を深掘りして伝え、来訪者に体感いただく。 ➢ 近江の米、牛、茶、湖魚、野菜や地酒など“旬”の滋賀を演出するため、県産食材を中心にテーマ性をもって調理・提供し、食で滋賀を体感いただく。 ➢ 琵琶湖をはじめとする滋賀の豊かな自然や歴史文化の発信、県内各地域の観光物産PR活動・首都圏イベントの発表等、来訪者の誘引につながるよう滋賀を体感いただく。
マーケット	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 県産の食、モノや暮らしを展示PR・販売し、素材のよさ、質の良さに触れ、購買や販路開拓につなげる。
総合案内	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 観光や移住交流、企業誘致など来訪者の関心やニーズに応じて初動時のサポートを行い、「ここ滋賀」と滋賀をつなぐ。

3

1-3. 「ここ滋賀」について(各施設の紹介)



マーケット(1階)

滋賀県産の米、加工食品、お茶、菓子類、地酒などの特産品や信楽焼、織物などの伝統工芸品など、約1,000種の商品を取り揃えている。



SHIGA's BAR(1階)

滋賀の地酒(33蔵)の飲み比べなどができる。近江牛メンチカツサンドなどテイクアウトメニューも提供。



観光案内(1階)

県が設置する観光コンシェルジュが常駐し、来館者向けに観光案内・相談対応。



レストラン「日本橋 滋乃味」(2階)

「発酵と近江牛」をテーマに県産食材をふんだんに使用した料理を提供し、滋賀の食の魅力を発信。



屋上テラス(R階)

日本橋の街を見渡せる開放的な空間。マーケットやバーで購入した商品の飲食も可能



4

【参考】コロナ禍での拠点運営状況

令和2年2月 都より「不要不急の外出自粛」呼びかけ
 令和2年3月 営業時間の短縮・週末の臨時休館
 R2年度 令和2年4-5月 4/8～5/27 **臨時休館**(最初の緊急事態宣言)
 令和2年10-11月 3周年イベント・マーケット売上がコロナ前を上回る(11月)
 R3年度 令和3年4-5月 4/25～5/25 **臨時休館**(三度目の緊急事態宣言)
 令和3年8月末現在
 ・時短営業を継続中(全館20時閉店)
 ・緊急事態宣言(4度目)に基づき、酒類の提供を停止中

【来館者・売上への影響】

	令和元年度	令和2年度	前年度比
来館者数	440,229人	243,831人	55.4%
売上(物販)	89,254,063円	62,777,690円	70.3%
売上(飲食)	64,598,939円	34,121,462円	52.8%

5

【参考】コロナ禍における店舗運営

感染防止対策



非接触型の体温計・消毒スプレーを店頭設置

感染防止対策商品



感染防止対策商品(マスク・消毒液等)の販売を強化

「おうち時間」充実商品



「おうち時間」充実のための商品(地酒、信楽焼、土鍋等)の販売を強化

テイクアウトメニューの充実強化



ご自宅やオフィスで手軽に滋養の「食」が堪能できる弁当類を販売

ミールキットの販売



ご自宅で簡単な調理で滋養の「食」が堪能できる料理キットを販売

6

2-3. 滋賀のお酒で乾杯！ リモート酒蔵見学



- ◆日時：令和2年11月1日(日) 17:30～19:00
- ◆場所：ここ滋賀2階「日本橋 滋乃味」
- ◆主催：滋賀県
- ◆内容：豊かな水と良質な酒米に恵まれた湖国・滋賀は美酒の宝庫。喜多酒造(東近江市)と田中酒造(甲賀市)の酒蔵をリモートで見学。お酒のお話を聞きながら、とっておきのお酒と料理のペアリングを参加者の皆様が堪能。



9

2-4. 親子で楽しめる！ 信楽焼たぬき制作体験



- ◆日時：令和2年11月3日(火・祝)
- ◆場所：ここ滋賀 屋上テラス
- ◆主催：滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会(共催)、信楽陶器工業協同組合(協力)
- ◆内容：
 - ・NHK連続テレビ小説「スカーレット」にも登場した信楽焼の「たぬき」。屋上テラスでの開放空間において、自分だけのオリジナル「たぬき」をつくり、出来上がった作品は信楽で焼き上げ、後日、参加者のご自宅へお届け。
 - ・定員24名に対して応募者数は1,546人。



10

2-5.「ここ滋賀」オンラインキッチン



- ◆日時：令和2年10月3日(日) 15:00~16:30
- ◆場所：ここ滋賀 2階「日本橋 滋乃味」
- ◆主催：東京滋賀県人会・滋賀県
- ◆内容：滋賀の食文化を継承し魅力発信に努力されている事業者の支援を行いつつ、滋賀由来の食の振興と交流を行うため、「近江牛」をテーマにリアルとオンライン(Zoom)によるセミナーと食事会を開催。



当日の会場



当日の様子はライブ配信
(現在も視聴可能：再生回数1,200回超)



三日月知事のビデオメッセージ



Zoom参加者には事前に
近江牛切り落とし・レンピを発送



基調講演
「近江牛の歴史と江戸の食文化」



滋乃味料理長によるライブクッキング
(Zoom参加者に映像を配信)



当日の料理
(近江牛バラちらし丼)

11

2-6.店頭での対面販売 (チャレンジマーケティング)



◆東京・日本橋の店舗における対面販売を通じて、都内消費者の反応や生の声を聞き、商品開発や商品改善につなげる機会を提供

◆実施期間
令和3年2月25日(木)、26日(金)

◆実施内容
守山市でパンを製造し、県内商業施設や道の駅で販売される「滋賀フーズ」さんが、首都圏では初めての催事販売を実施。
「近江牛カレーパン」を中心に、1階マーケットでの販売を実施



12

2-7. 拠点外での商品販売（例）



神保町交差点 県産品即売会

- ◆ 令和2年11月27日(金)～29日(月)
- ◆ 「ここ滋賀」の運営事業者・UDS株式会社が運営する「神保町ブックセンター」との連携により、神保町交差点にて、テントでの県産品販売と観光案内を実施
- ◆ 売上金額：311,774円（税込）



27		28		29		30	
UDS(株)ここ滋賀		UDS(株)ここ滋賀		(株)千成孝風土		UDS(株)ここ滋賀	
日本3大和牛 近江牛セット(冷蔵)	近江牛カレーセット	近江牛すき焼き肉	近江の人気おかずセット				
冷蔵 4750円	常温 4050円	冷蔵 5200円	常温 3500円				

※ 送料込み

※ 滋賀県産品フェア

※ 社内用(インフレット)販売

企業社内販売（受注販売）

- ◆ 令和2年10月6日(火)～16日(金)
- ◆ 滋賀県と包括連携協定を結ぶ三井住友海上グループ（本社：千代田区）の社員を対象に、同社の社内ポータルサイト上で滋賀の特産品によるギフトを紹介し、通信販売形式で販売
- ◆ 売上金額：781,200円(税込)

13

2-6. 「滋賀の食材」首都圏プロモーション(食材レセプション)



- ◆ 日時：令和2年12月8日(火) 15:00～16:30
- ◆ 場所：ここ滋賀2階「日本橋 滋乃味」
- ◆ 主催：滋賀県(食のブランド推進課)
- ◆ 内容：
 - ・ 滋賀の食材を使った特別メニューを首都圏の飲食店等で提供いただく「滋賀の食材・首都圏メニューフェア」の一環として実施。
 - ・ 首都圏の飲食店等のシェフや青果仲卸業者に滋賀の野菜や近江の茶、近江牛、氷魚などの湖魚等を試食いただいた。
 - ・ 東京日本橋と県内産地をオンラインで結び、生産者自らがリモートで食材の魅力をPRし、飲食店等でのメニュー化へと繋げた。



14

2-7. クラウドファンディング

◆ 新型コロナウイルス感染拡大により、県内の事業者・生産者が大きな影響を受ける中、ふるさと“滋賀”の魅力をより多くの方に知っていただき、滋賀を応援いただくために、国内最大級のクラウドファンディングプラットフォーム「CAMPFIRE」を活用したプロジェクトを実施。

◆ 応募期間
令和2年10月26日(月)～11月30日(月)

◆ 返礼内容(※以下の3種類)
 ① 5,000円支援 ⇒ 6,000円分のクーポン券
 ② 10,000円支援 ⇒ 13,000円分のクーポン券
 ③ 5,000円支援 ⇒ 「滋賀応援」お得詰めBOX(6,500円相当分)

◆ 目標金額 1,200,000円
 ◆ 支援総額 743,111円(支援者数94人)

東京日本橋
「#ここ滋賀」から
滋賀を応援しよう!

FAAVしが クラウドファンディング挑戦中!

新型コロナウイルス感染拡大により、滋賀県内の事業者や生産者の影響は大きな影響を受けています。そこで「ここ滋賀」では、滋賀人の誇りや精神がこの困難に立ち向かい、奮起していただく、実業家や生産者から、ふるさと「滋賀」の魅力をより多くの方に知っていただき、滋賀を応援しようと考えています。

皆様と一緒に「滋賀県を応援したい」、楽しみに、滋賀の魅力を体験してもらい、「ここ滋賀」から滋賀を盛り上げたい!

支援コースごとのリターン(返礼品)一覧

支援コースごとのリターン(返礼品)一覧

「ここ滋賀」応援詰めBOX(6,500円相当分) 5,000円の支援

目標金額 120万円
 募集期間 11/30(月)まで
 プロジェクトページはこちら
<https://camp-fire.jp/projects/view/334322>

2-8. ここ滋賀ショッピングサイト・ご当地モール

◆ 非対面型の購入機会の拡大といった社会状況の変化に対応するため、「ここ滋賀」で取り扱っている商品を中心としたECサイト「ここ滋賀ショッピングサイト」での県産品の販売および情報発信を強化(取扱商品の充実、一定期間での商品配送料の無料化)

◆ WEB物産展『滋賀県ご当地モール』に参加し、「Yahoo!ショッピング」サイトにおいて一定期間、割引販売(割引率30%)を実施。
 [第1弾] 令和2年7月1日～8月16日
 [第2弾] 令和2年11月16日～令和3年2月28日

WEB物産展は、今年度も10月より実施予定!!

滋賀の名品を、お家から買えます。

滋賀の魅力的な商品をあなたに。

ここ滋賀ショッピングサイト Yahoo!店はこちら
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/cocoshigashop/>

あなたオリジナルのギフトセットをお届け。

ここ滋賀になかった商品も、ほい方はポチッと。
<https://cocoshigashop.jp/>

16

3. 令和3年度の発信事例1



◆オンラインを用いたイベントの開催
【例】R3.7.18(日)「旬のピワマス」を味わう会
滋賀と東京をオンラインで繋ぎ、湖魚料理を体験

◆季節に合わせたマーケットフェア
【例】7月「びわ湖の日」フェア



◆階段室・屋上等でのパネル展示
【例】8月 琵琶湖博物館のPR



3. 令和3年度の発信事例2



◆国際交流・発信の推進
【例】オーストリア政府観光局との交流



◆都内でのイベントへの参加出展
【例】東京オリパラ関連イベントへの出店(8/3,4,5)
有楽町「Tokyo TOKYO ALL JAPAN COLLECTION」



◆旬の滋賀県情報の発信
【例】県出身選手の活躍速報の店頭掲示